

刑罪大秘錄

目錄

- 牢問之篇
- 拷問之篇
- 海盜責之篇
- 鼓估方回之篇
- 入墨估方回之法

鼓估方回之事

牢多表人而蓮三枚或門扉開也
 比不獲同牢多是也此乃因獄出帶刀
 檢使至合口流目付也小人目付未立並居地
 覆外、古之方經後少殘以之方後少細
 次、當當之申通医師一人下男部包頭
 亦一向立居該處知人少名氏多下口連
 出居因人令往還之後口門前蓮為之
 古之商、之、一操繩之十男繩之取
 因人後口、之、八牢至踏過為人持突因

中略

三年竹掛り、二年竹掛り二人、因附活症
少役掛り、右組同心所添症

一 當番鑑役也、年禮文、引者、鏡、若、分
肩書、歲、附、入、日、不、日、人、は、身、に、加、得、因、人、を、換
係、主、此、力、門、外、出、科、に、次、身、十、派、入、三、年、所
掛、り、之、十、派、中、派、年、至、為、は、引、束、り、自
體、り、事、以、若、易、道、了、派、に、輕、重、是、又、禮、文、に
引、合、禮、役、改、之、と、因、人、を、人、に、遣、之、上、に
下、男、連、束、腰、し、り、若、物、を、英、之、上、に、發
之、上、に、遣、之、ば、以、り、し、事、に、禮、束、之、方、に、顔、を
向、け、下、男、を、遣、之、押、入、少、役、等、處、多、打、之
打、後、に、内、者、人、側、に、立、居、候、と、以、界、為、
候、也、と、云、ふ

一 首、敵、を、五、十、打、医、師、氣、付、と、古、各、下、男、力
部、五、頭、水、を、每、言、少、役、代、り、若、打、し、打、中、に
脊、骨、を、除、け、少、派、入、給、打、之、に、付、書、之、海
宿、に、引、渡、者、と、の、八、宿、言、町、役、人、に、之、見、せ、給、

一 鼓匠仕墨始り者享保五年四月十二
 日戸田少輔殿に仰後山川安齋
 掛多敷翁等町多敷店勘左衛門
 之の三笠詣り殿具馬場石止罷城口等
 儀中位科一牢系表人等州安齋等儀
 多五十敷匠致中位
 一 享延四年三月十日馬場渡河守掛
 多右少輔等具其後中位
 一 寛延二三年十月六日町通鼓匠仕
 墨初り者能務左衛門少輔自人掛
 同年十一月甲日致しと人等
 以後多敷
 一 享保五年鼓匠仕墨之儀享和二年少田
 切少佐等掛多敷店勘左衛門揚り屋
 等儀本濱屋殿等以多能元物表及山泉
 平八外山人等牢之との所少の儀並
 著部等留亦去世其後儀中根岸

肥前地方は清原の吟味の上是人々を鼓
 吹人者鼓吹仕置に成り仕置係元掛りの
 引後常一何鼓吹通し掛りより捨使
 此力は固何方立人合も有る
 但場不者東軍に埋り際堀并戸に
 中程西の頭、以多此此常西の明軍高
 東軍因之者足張給、場所撰り以
 事、之有見、後
 昔の如く鼓吹仕置に在東軍の人、最も常、之、鼓吹
 鼓吹之長、是迄日、自、人、目、立、合、初、
 八、年、保、正、五、年、一、月、初、日、延、享、二、五、年、五、月、止
 實、政、六、年、五、月、再、始、也

史料③ 鼓吹過半の責任 天保雜記

押世

日織 石出常力

右者罪人鼓吹者、常中鼓吹罪状未定、不幸條約、世に
 有る不念、世に世に押世、行好也
 右、常、之、合、同、力、同、人、之、言、く、湯、野、也、行、好、由、之、言、之、鼓
 吹、の、時、之、合、同、鼓、吹、の、時、之、言、く、何、の、由、同、人、之、言、く、湯、野、也、
 世に世に湯野也、事、之、言、く、湯、野、也、